

**TOPICS**

## DICオリジナルカレンダーが「第69回全国カレンダー展」銀賞を受賞

DIC川村記念美術館の彩り豊かな所蔵作品と、その展示空間との調和を表現

2018年DICオリジナルカレンダー「Color & Comfort -作品と空間-」が、一般社団法人日本印刷産業連合会とフジサンケイビジネスアイが主催する「第69回全国カレンダー展」において、部門賞（第1部門）銀賞を受賞しました。

全国カレンダー展は、一般企業、出版社、印刷会社、企画制作会社やデザイン会社が制作したカレンダーの中から、印刷技術や企画、デザイン性、機能性、創造性に優れた作品を厳選し、表彰しています。今年は、応募総数586作品の中から、金賞19作品、銀賞45作品（当社を含む）が選出されました。応募作品は、一般企業および印刷会社の自社用カレンダー（第1部門）、販促カレンダー（第2部門）、販売用および既製カレンダー（第3部門）に分類されており、それぞれに金賞、銀賞が設けられています。また、その受賞作品の中から経済産業大臣賞などの上位賞や国立印刷局理事長賞などの特別賞が選ばれます。



当社は、彩り豊かで、もっと心地よく暮らせる、そんな社会を築いていく“Color & Comfort”をブランドスローガンとしています。DIC川村記念美術館\*1は、関連グループ会社とともに収集した美術品を公開するために、1990年5月、千葉県佐倉市に開館しました。同美術館は、二つの塔と石張仕上げによるモダンな中にも重厚さを感じる建物とともに、庭園には季節ごとに花々や草木が美しく育ち、快適な空間をつくり出しています。また、内部には、フランク・ステラの大型作品が映える高い天井や、サイ・トゥオンブリーの作品を照らす柔らかな自然光が差し込む大きな窓を備えた展示室、マーク・ロスコ「シーグラム壁画」を展示するために設けられた「ロスコ・ルーム」などを有しています。

2018年カレンダーでは、同美術館の彩り豊かな所蔵作品を楽しんでいただくとともに、その作品の展示空間画像と対にすることで、作品と空間の調和を表現しています。また、暦表記は、より多くの人々が等しく情報を認識できるような配色や色の組み合わせと、休日に下線を入れるなど視認性の高いデザインを採用しており、カラーユニバーサルデザイン認証を取得しています。加えて、印刷インキには、有害物質不使用の「NLマーク」、石油系溶剤抑制の「エコマーク」、植物油インキの「ベジタブルマーク」を取得したDICグラフィックス社\*2の環境対応製品「ニューチャンピオン ナチュラルスリリーズ」を使用することで、環境にも優しいカレンダーを実現しています。



2018年DICオリジナルカレンダー  
「Color & Comfort -作品と空間-」  
(表紙、7月、8月)



【ウェブサイト紹介】

- ※1) DIC 川村記念美術館
- ※2) DIC グラフィックス社

<http://kawamura-museum.dic.co.jp/>

<http://www.dic-graphics.co.jp/>